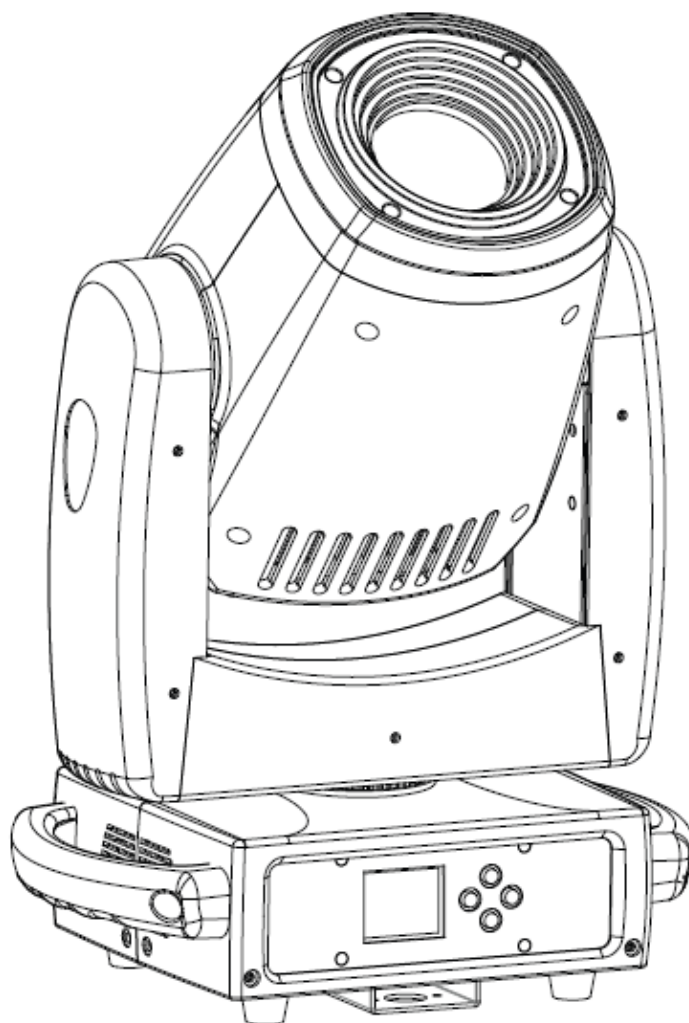


ELIMINATOR[®]

LIGHTING



STRYKER SPOT

User Manual



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL : 0476(89)1111 FAX : 0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度はELIMINATOR LIGHTING STRYKER SPOT をご購入頂き、誠にありがとうございます。
STRYKER SPOT は150Wクールホワイト LED を装備したスポットタイプのムービングヘッドです。
本製品を安全に末永くご利用いただくため、ご使用いただく前に、この取扱い説明書をかならずお読みください。

基本仕様

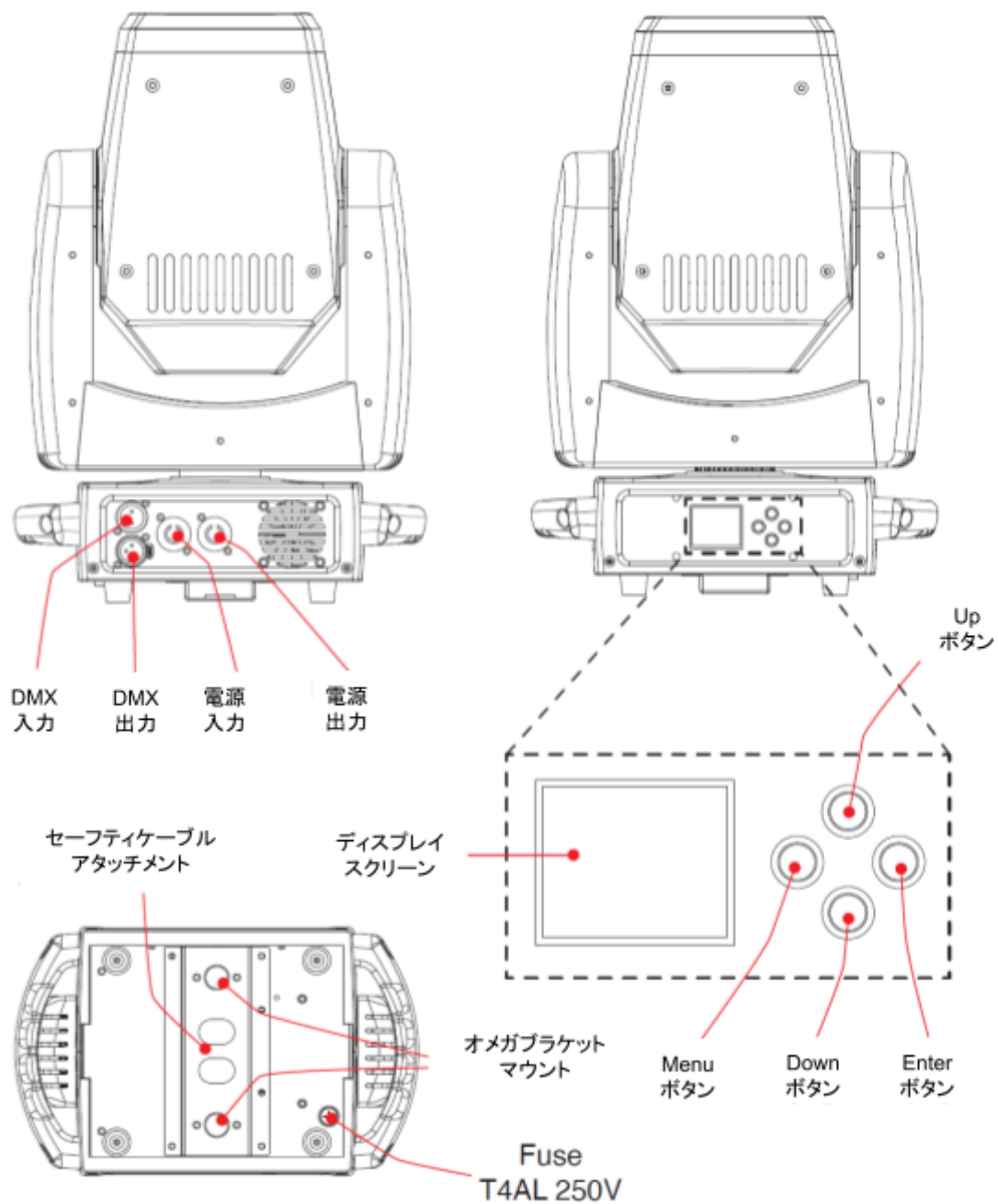
- ・ DMX 入出力 3PIN XLR
- ・ 150 W クールホワイト LED x 1
- ・ 2DMX チャンネルモード (16チャンネル / 18チャンネルモード)
- ・ 9 - 14 度 ズームレンジ
- ・ PAN 540度 / TILT 210度
- ・ DMX512, プライマリ・セカンダリ、オート、サウンドアクティブモード
- ・ RDM対応
- ・ LCDディスプレイ
- ・ IP20

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。
3. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
4. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
5. 本製品を他の機材と接続する際は必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
7. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
8. ディマーパックからの電源供給は行わないでください。
9. 本体カバーを外さないでください。
10. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
11. 周辺温度が 45度を超える環境では使用しないでください。
12. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
13. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
14. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
15. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
16. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
17. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
18. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

故障が生じた場合は販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

各部の名称



設置について



器具の取付、設置、移動、撤収は専門家がおこなってください。

設置に関する注意事項:

- 取付作業は、地域の電気工事および建築に関する法令、規則、および規格に準拠して行ってください。
- 器具を取り付けるトラスや設置面は、器具本体とアクセサリの重量に十分耐えられる強度が必要です。変形しないことを確認してください。
- 器具には、適切な安全ワイヤーなどの二次的な安全装置を必ず取り付けてください。
- 金属製のトラスや構造物に単一の器具を取り付ける、または器具を任意の表面に設置する前に、必ず専門の設備業者に相談して、金属製のトラスや構造物、または設置面が、器具、クランプ、ケーブル、およびアクセサリの総重量に安全に耐えられるように適切に認定されているかどうかを確認してください。

使用環境:

- 使用環境の最高周囲温度は45℃です。
- 器具は、通路、座席エリア、または許可されていない者が手などで器具に届く可能性のある場所から離して設置してください。

取扱いに関する注意事項:

- 器具の吊り上げ、取り外し、または保守点検を行う際は、絶対に器具の真下に立たないでください。
- 上部への器具取り付けには、常に二次的な安全装置（適切な定格の安全ワイヤーなど）で固定してください。

設置要件:

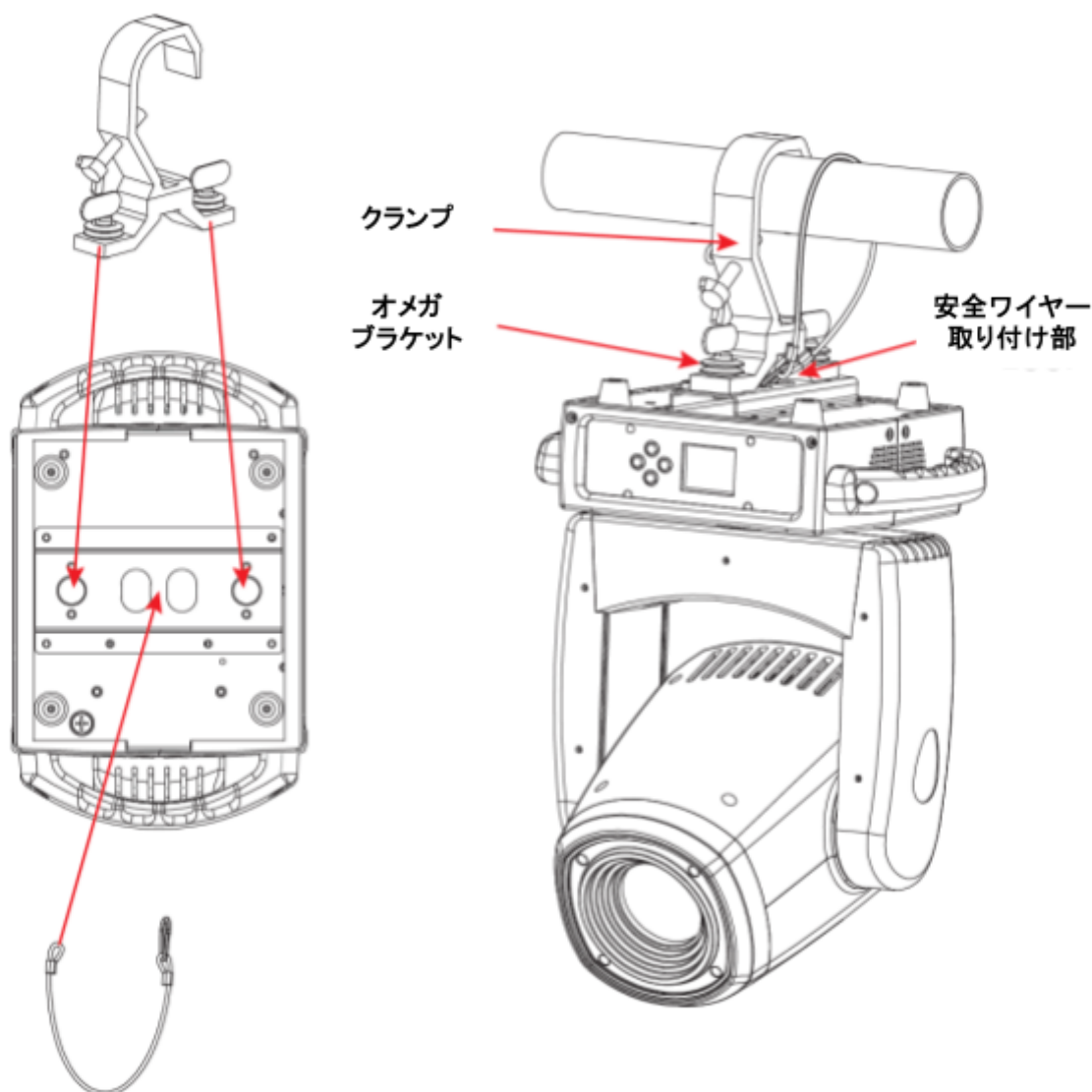
- 取り付けには、荷重限界の計算、使用する取り付け材料の知識、およびすべての取り付け材料と器具自体の定期的な安全点検を含む、広範な経験が必要です。これらの資格がない場合は、自分で取り付けを試みないでください。

定期点検:

- 設置後、年に1回は、専門家による点検をおこなってください。

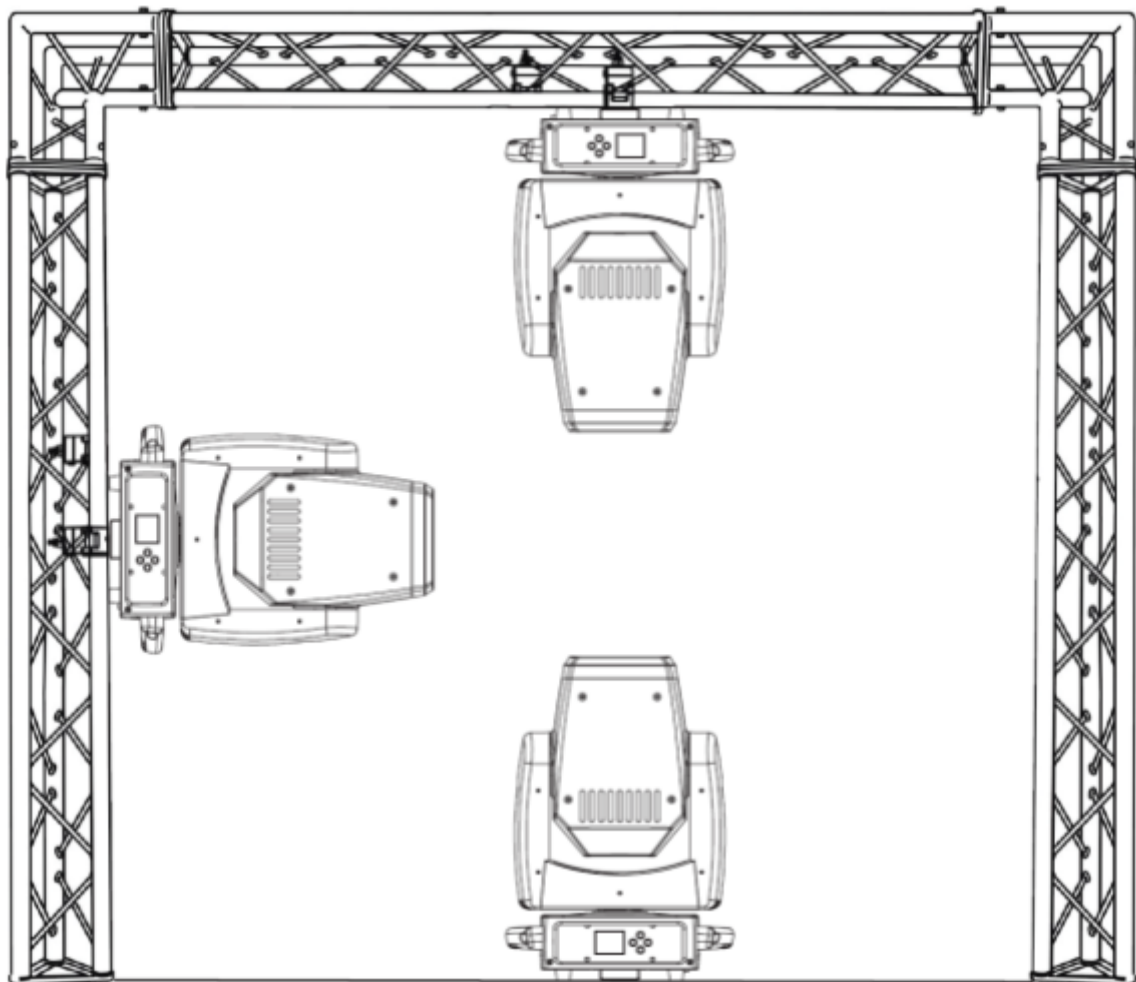
クランプの取り付け

本製品には、オメガブラケットを取り付けるための取り付け穴がベースの下側に設けられています。このユニットをトラスに取り付けるには、適切なサイズのナットとボルトを使用してオメガブラケットにクランプを取り付けます。次に、オメガブラケットのツイストロックファスナーを器具の下側にある取り付けレールの外側の穴に挿入し、回転させてクランプを所定の位置に固定します（以下の図を参照）。ブラケットの中央部分の取り付けポイントに、適切な定格の安全ワイヤーを取り付けてください。



高所に設置する際は、必ず安全ワイヤーを取り付けてください。クランプが故障した際に器具が落下することを防止します。

天井やトラスから逆さまに吊り下げる、トラスに横向きに取り付ける、平らな水平な面に設置する、など、3つの異なる取り付け位置で使用することができます。この器具は、可燃性物質（装飾品など）から少なくとも12m（40フィート）離して保管してください。クランプが故障した場合に機器の損傷や怪我を防止するために、安全対策として必ず安全ケーブル（別売）を使用してください。



落下すると器具の損傷や重大な怪我を引き起こす可能性があります。設置や点検は必ず専門家が行ってください。

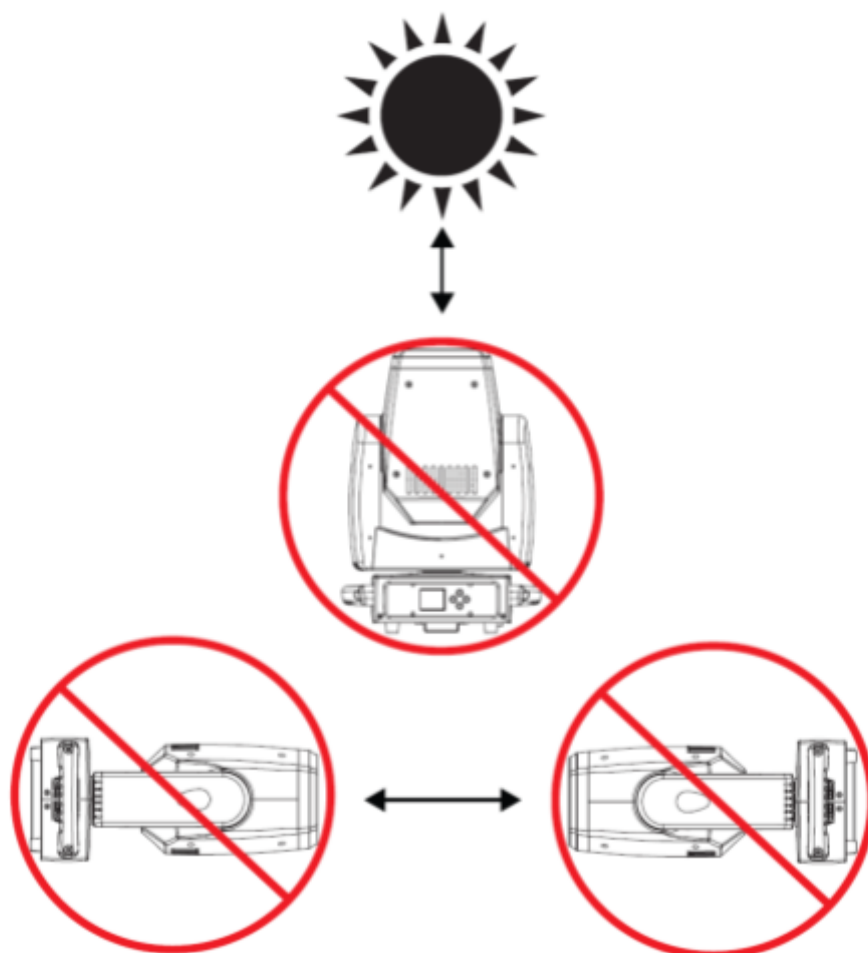


高所に設置する際は、取り付け器具が外れても照明器具が落下しないように、安全ケーブルを必ず取り付けてください。

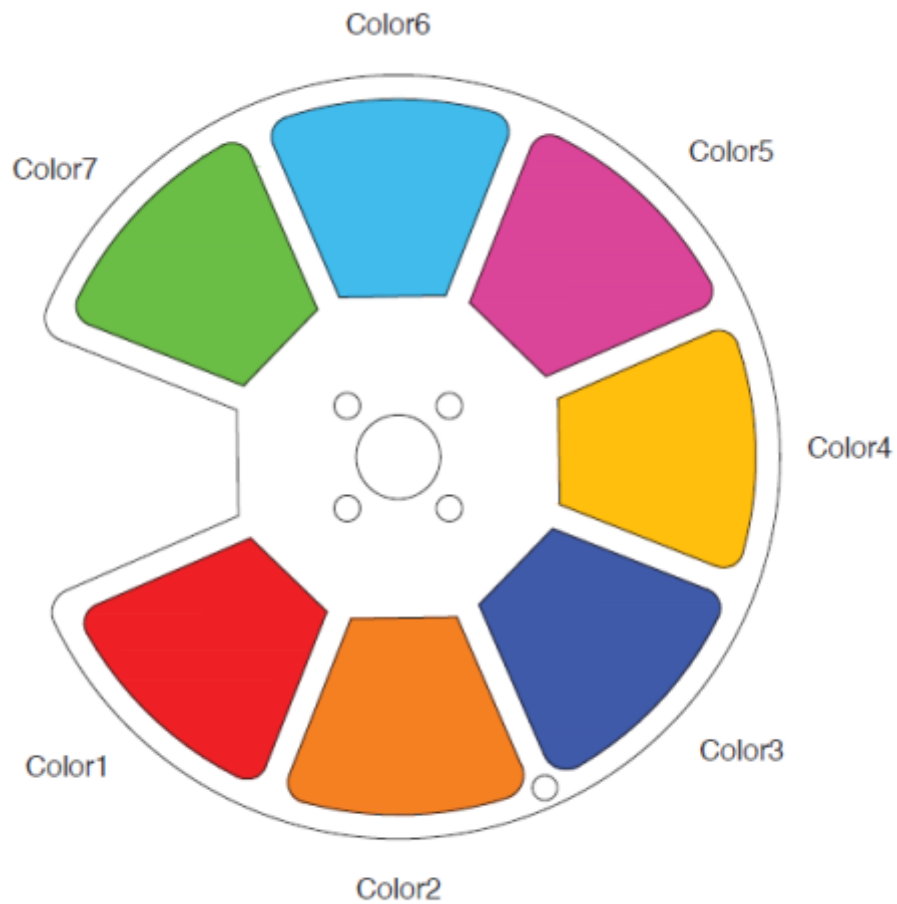
外部光源について

外部からの光線（直射日光、照明、ムービングヘッドフィクスチャー、レーザーなど）が、本製品の外装に直接向けられたり、フロントレンズの開口部を通じて内部に侵入したりすると、光学部品、ダイクロイックカラーフィルター、ガラスや金属製のゴボ、プリズム、アニメーションホイール、フロストフィルター、アイリス、シャッター、モーター、ベルト、配線、放電ランプ、LEDなどに深刻な内部損傷（焼損など）を引き起こす可能性があります。この問題を完全に防ぐ方法は存在しませんが、以下の点に注意することで潜在的な損傷のリスクを軽減することができます。

開梱や設置、使用中、または屋外で長時間使用しない場合、照明器具やフロントレンズの開口部を直射日光や他の照明器具、ムービングヘッド、レーザーの光線に当てないでください。また、1つの照明器具から出る光を別の照明器具に直接向けないようにしてください。



カラーホイール



ゴボ

GOBO WHEEL 1 - FIXED GOBOS



GOBO WHEEL 2 - ROTATING GOBOS



REMOTE DEVICE MANAGEMENT (RDM)

注記: RDMを正常に機能させるためには、DMXスプリッターやワイヤレスシステムを含め、システム全体でRDM対応の機器を使用する必要があります。

リモートデバイスマネジメント(RDM)は、DMX512をもとに構築されたプロトコルであり、照明器具のDMXシステムをリモートで変更および監視することを可能にします。このプロトコルは、アクセスが困難な場所に設置された機器の設定、監視に適しています。

RDMを使用すると、双方向通信が可能となり、RDM対応のコントローラーが接続されたデバイスに信号を送信、応答することができます(GETコマンドと呼びます)。コントローラーはSETコマンドを使用して、通常は機器のディスプレイ画面で行う設定をリモートで変更することができます。

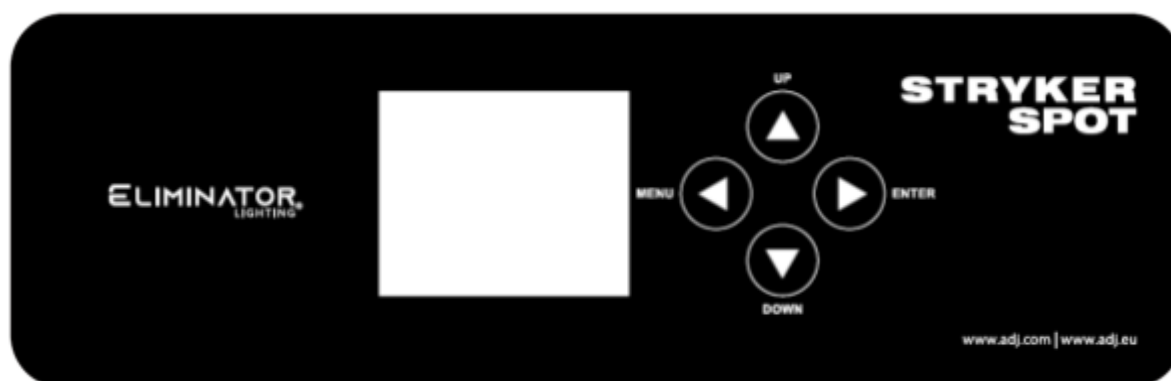
RDM情報

RDM Code	Device ID	Device Model ID	Personality ID
0x6666	Random	H7A	CH16 (1) CH18 (2)

すべてのRDM機器がすべてのRDM機能をサポートしているわけではないため、必要な機能が含まれているかどうかを事前に確認することが重要です。

[0x00F0] DMX Start Address
[0x1000] Identify
[0x0001] Disc Unique Branch
[0x0002] Disc Mute
[0x0003] Disc Un Mute
[0x00E1] DMX Personality Description
[0x00E0] DMX Personality
[0x0082] Device Label
[0x0081] Manufacturer Label
[0x0080] Device Model Description
[0x0060] Device Info

コントロールパネル



MENUボタンを押すと、メインメニューの項目が順番に切り替わります。画面に選択したいメインメニューの項目が表示されたら、ENTERボタンを押してサブメニューに進みます。その後、UPボタンとDOWNボタンを使ってサブメニューの項目をスクロールできます。場合によっては、さらに別のサブメニューが表示され、その場合も同様に操作できます。

システムメニュー

メニュー	オプション / 値 (BOLD = 初期値)			内容
DMX SETTINGS	Address	001 - 512		DMXアドレス設定
	Mode	16 Ch		チャンネルモード設定
		18 Ch		
	No DMX	Hold		DMX信号が途切れた場合、最後の状態を保持
		Program / Auto		DMX信号が途切れた場合、オートモードにて再生
		Sound		DMX信号が途切れた場合、サウンドアクティブにて再生
PERSONALITY	Pri/Sec Mode	Primary / Secondary		プライマリ・セカンダリモードの設定
	Aria Settings	Set Aria Band	2.4 Ghz	使用しません
			Subgig (US)	
			Subgig (EU)	
		Aria 2.4Ghz channel	00 - 15	
		Aria Subgig channel	00 - 09	
		Mesh	On / Off	
		Bluetooth Enable	On / Off	
		Pan Invert	Yes / No	
	Tilt Invert	Yes / No		Tilt の動作反転
	P/T Correction	On / Off		Panとtiltの補正の有無
	Display Reverse	Yes / No		ディスプレイの反転表示
	Target Mode	Off / On		ターゲットモードのON/OFF
	Sound Sensitivity	000 - 100 (Default = 010)		サウンドアクティブ感度設定
	Reset	Yes / No		再起動
	Factory Restore	Passcode = 018	Yes / No	工場出荷時の設定に戻す
	Calibration	Passcode = 018	All to Origin	各機能の調整
			Pan = -128 ~ 127	
			Tilt = -128 ~ 127	
			Color = -128 ~ 127	
			Gobo 1 = -128 ~ 127	
			Gobo 2 = -128 ~ 127	
			...	
			Prism = -128 ~ 127	
			Zoom = -128 ~ 127	
RUN MODE	Program	Program 1		ターゲットモードプログラムの選択
		Program 2		

		Program 3	
		Program 4	
		Program 5	
		Program 6	
		Program 7	
		Program 8	
	Program Speed	1 - 10 (default = 5)	ターゲットモードプログラムのスピード選択1(遅) →10(速)
	Auto Play	Auto Play 1	オートプレイモードの選択
		Auto Play 2	
		Auto Play 3	
		Auto Play 4	
		Auto Play 5	
		Auto Play 6	
		Auto Play 7	
		Auto Play 8	
	Auto Play Speed	1 - 10 (default = 5)	オートプレイモードのスピード選択1(遅) →10(速)
MANUAL MODE	Pan	000 - 255	マニュアルコントロール
	Pan Fine	000 - 255	
	Tilt	000 - 255	
	Tilt Fine	000 - 255	
	Color	000 - 255	
	Gobo 1	000 - 255	
	Gobo 2	000 - 255	
	Gobo 2 Rotation	000 - 255	
	Shutter	000 - 255	
	Dimmer	000 - 255	
	Focus	000 - 255	
	Zoom	000 - 255	
	Prism	000 - 255	
	Prism Rotation	000 - 255	
	Effect Auto	000 - 255	
	Pan/Tilt Auto	000 - 255	
	Pan/Tilt Speed	000 - 255	
	Reset	000 - 255	
SYS INFO	On Time	xxxxxH xxM	LEDの点灯時間
	Total Time	xxxxxH xxM	トータルの電源投入時間
	Firmware Version	Vx.xxx	ファームウェアバージョン
	Running Mode	DMX xx Ch	DMXチャンネルモードの表示
	Temperature	xxx°F	温度表示

DMX Address:

DMX アドレスを設定します。

1. 「DMX Settings」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Address」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して希望するDMXアドレスを表示させ、「ENTER」を押します。

選択可能な範囲は001～512です。

DMX Mode :

DMXコントローラーを使用することにより、ユーザーは自身のニーズに合わせたカスタムプログラムを作成することができます。利用できるDMXモードは、16チャンネルモードと18チャンネルモードの2種類です。詳細情報については、本マニュアルの「DMXチャート」を参照してください。

1. 「DMX Settings」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Mode」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して16ch、または18chを表示させ、「ENTER」を押します。

No DMX Stage :

この設定では、DMX信号が失われたり中断された場合の動作、および電源投入時にどの動作モードに戻るかを定義します。

1. 「DMX Settings」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「No DMX」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して希望するオプションを表示させ、「ENTER」を押します。選択可能なオプションは以下の通りです。

- Hold - DMX信号が失われる前の最後の設定を保持します。
- Program - DMX信号が失われた際、指定されたプログラムまたはオートモードに戻ります。
- Sound - DMX信号が失われた際、サウンドアクティブモードに戻ります。

Personality:

1. 「Personality」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Personality」のパラメータをスクロールし、「ENTER」を押します。「Personality」のパラメータは以下の通りです。
 - ☐ Pri/Sec Mode – 機器をプライマリまたはセカンダリとして設定します。
 - ☐ Aria Settings – 周波数帯域、チャンネル、メッシュ、Bluetoothなど、機器のAria機能を設定します。
 - ☐ Pan Invert – パン動作の有効／無効を切り替えます。
 - ☐ Tilt Invert – チルト動作の有効／無効を切り替えます。
 - ☐ P/T Correction – パンおよびチルト補正の有効／無効を切り替えます。
 - ☐ Display Reverse – 画面表示の反転の有効／無効を切り替えます。
 - ☐ Target Mode – Target Modeの有効／無効を切り替えます。※Target Modeのプログラムと実行速度は、Run Mode > ProgramおよびRun Mode > Program Speedで選択可能です。
 - ☐ Sensitivity – 感度レベルを設定します。
3. UPおよびDOWNボタンを使用して、各Personalityパラメータのサブオプションをスクロールし、ENTERを押して確定します。

Reset :

1. 「Personality」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Reset」までスクロールし、ENTERを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Yes」「No」を切り替え、「ENTER」を押します。「Yes」を選択すると再起動され、「No」を選択すると変更を加えずに前のメニューにもどります。

Factory Restore :

すべてのパラメータを工場出荷時の設定に戻します。

1. 「Personality」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Factory Restore」までスクロールし、ENTERを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用してパスワード(「018」)を表示させ、ENTERを押します。

Calibration :

パラメータを手動で調整します。

1. 「Personality」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用してパスワード(「018」)を表示させ、ENTERを押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Calibration」のパラメータをスクロールし、「ENTER」を押します。
4. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して選択したパラメータの希望値を表示させ「ENTER」を押します。選択可能な範囲は -127 ~ +128です。

Program :

ターゲットモードのプログラムを選択します。

1. 「Run Mode」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Program」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して8種類のプログラムから任意の1つを表示させ、「ENTER」を押します。
4. 「Run Mode」メニューに戻り、「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Program Speed」までスクロールし、「ENTER」を押します。
5. 「UP」「DOWN」ボタンを使用してプログラムスピードを選択し、「ENTER」を押します。1が最も遅く、10が最も早い設定となります。

Auto Play :

オートプレイモードを実行します。

1. 「Run Mode」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Auto Play」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して8種類のAuto Playモードから任意の1つを表示させ、「ENTER」を押します。
4. 「Run Mode」メニューに戻り、「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Auto Play Speed」までスクロールし、「ENTER」を押します。
5. 「UP」「DOWN」ボタンを使用してAuto Play Speedを選択し、「ENTER」を押します。1が最も遅く、10が最も早い設定となります。

Manual Mode :

パラメータをマニュアルで調整します。

1. 「Manual Mode」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して、以下の変更を行うパラメータを表示させます。「ENTER」を押します。
「Pan」「Pan Fine」「Tilt」「Tilt Fine」「Color」「Gobo 1」「Gobo 2」「Gobo 2 Rotation」「Shutter」「Dimmer」「Focus」「Zoom」「Prism」「Sound Sensitivity」「Effect Auto」「Pan/Tilt Auto」「Pan/Tilt Speed」「Reset」。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して選択したパラメータの値を設定します。すべてのパラメータは000～255の範囲で選択可能です。ENTERを押して確定します。

調整を行いたいパラメータについて1～3の手順を繰り返します。

On Time

LEDの点灯時間を表示します。

1. 「Sys Info」が表示されるまで「MENU」ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「On Time」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. ディスプレイにLEDが点灯した状態で稼働した時間が表示されます。

Total Time

フィクスチャの稼働時間を表示します。

1. 「Sys Info」が表示されるまで MENU ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Total Time」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. ディスプレイにフィクスチャの稼働時間が表示されます。この値はリセットを行うことはできません。

Firmware Version:

現在のソフトウェアバージョンを表示します。

1. 「Sys Info」が表示されるまで MENU ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Firmware Version」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. ディスプレイに現在のソフトウェアバージョンが表示されます。

Running Mode:

現在選択されているDMXモードを表示します。

1. 「Sys Info」が表示されるまで MENU ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Running Mode」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. ディスプレイに現在選択されているDMXチャンネルモードが表示されます。

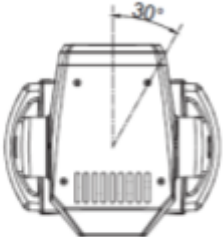
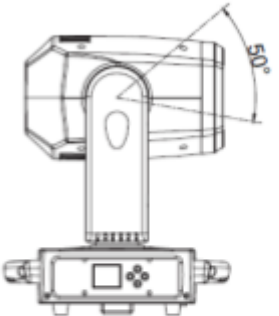
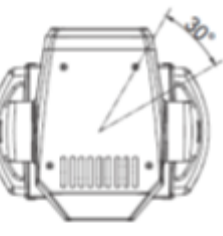
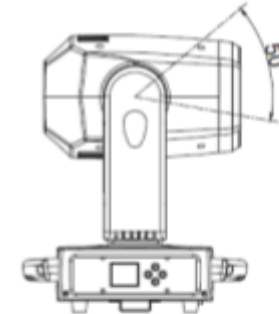
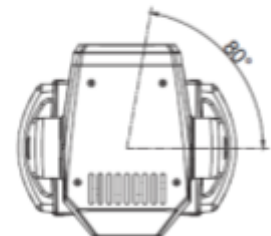
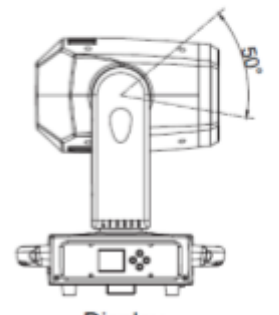
Temperture:

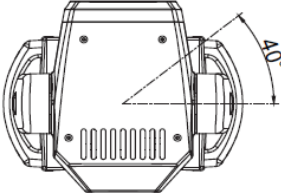
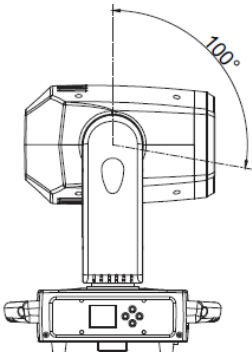
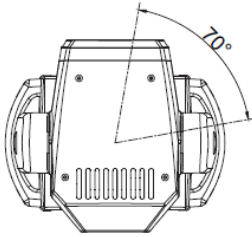
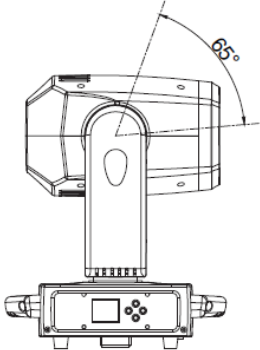
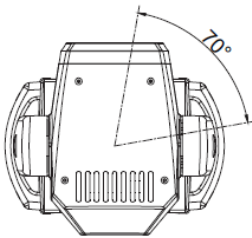
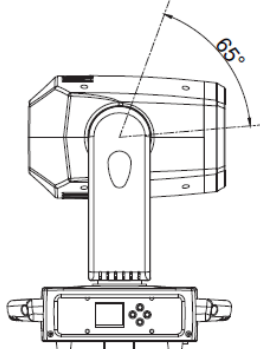
フィクスチャの温度を表示します。

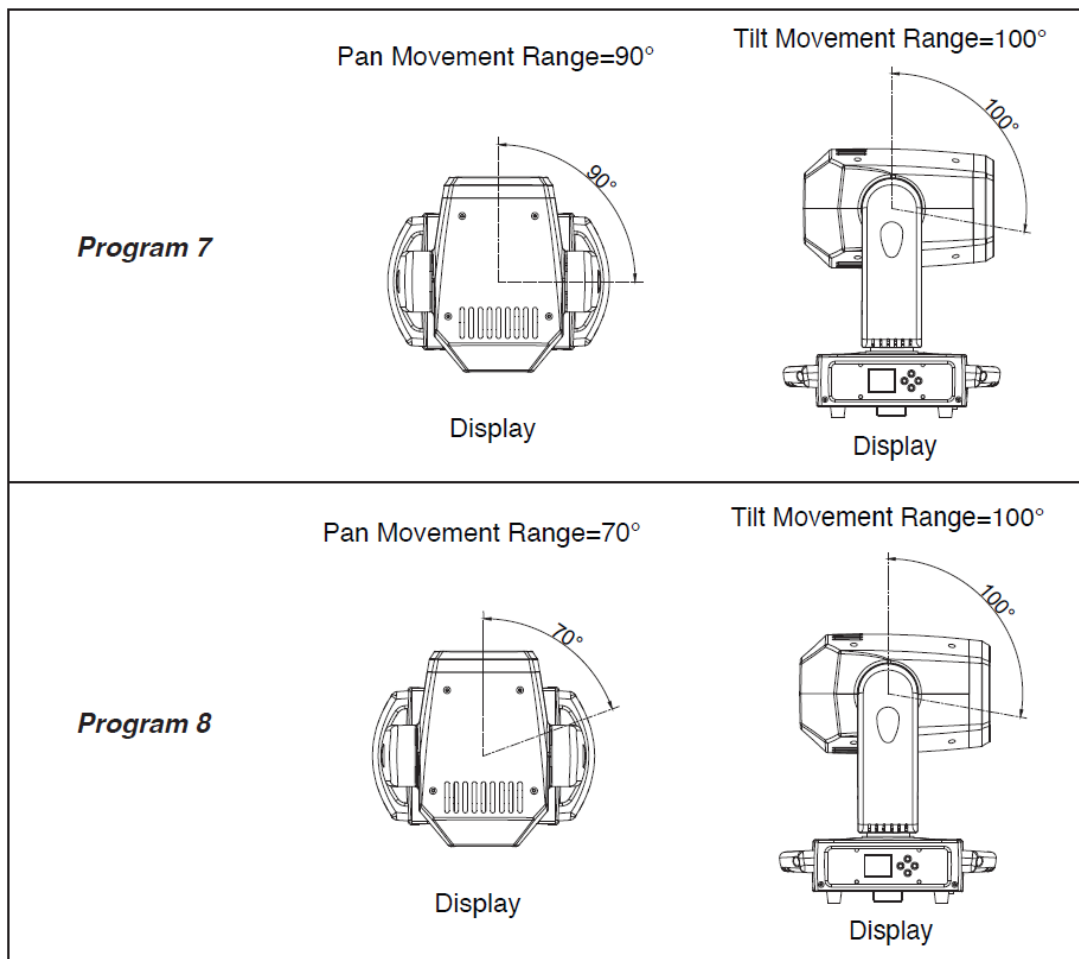
1. 「Sys Info」が表示されるまで MENU ボタンを押し、表示されたら「ENTER」を押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを使用して「Temperature」までスクロールし、「ENTER」を押します。
3. ディスプレイに現在選択されているDMXチャンネルモードが表示されます。

ターゲットモード

ターゲットモードは、照明機器のパンおよびチルトの動きを、事前定義された範囲に制限します。ユニットをターゲットモードで動作させるには、まずシステムメニューの「Personality > Target Mode」に移動し、「On」を選択してください。その後、システムメニューの「Run Mode > Program」に移動し、実行したいターゲットモード設定を選択します。各ターゲットモードのパラメーターは、下図に示されています。さらに、選択したターゲットモードの動作速度を調整することもできます。

Program 1	Pan Movement Range=30°  Display	Tilt Movement Range=50°  Display
Program 2	Pan Movement Range=30°  Display	Tilt Movement Range=50°  Display
Program 3	Pan Movement Range=80°  Display	Tilt Movement Range=50°  Display

Program 4 Pan Movement Range=40°  Display	Tilt Movement Range=100°  Display
Program 5 Pan Movement Range=70°  Display	Tilt Movement Range=65°  Display
Program 6 Pan Movement Range=70°  Display	Tilt Movement Range=65°  Display



プライマリ・セカンダリモード

プライマリ・セカンダリ設定機能について

この機能を使用すると、機器をリンクして**プライマリ・セカンダリ構成**で動作させることができます。この構成では、1台の機器が制御用(プライマリ)として機能し、他の機器はその制御機器の内蔵プログラムに従って動作します。

- **プライマリ(Primary):**
制御を担当する機器。プログラムを実行し、他の機器に信号を送ります。
- **セカンダリ(Secondary):**
プライマリ機器に同期して動作する機器。独自の動作は行わず、プライマリ機器の信号に従います。

注意事項

- 任意の機器をプライマリまたはセカンダリとして設定できます。
- ただし、1つのシステム内で**プライマリとして動作できるのは1台のみ**です。複数の機器をプライマリに設定すると、動作が不安定になる可能性がありますので注意してください。

この設定を使用することで、複数の機器を簡単に連動させ、統一された演出効果を実現できます。

接続と設定方法

以下の手順に従って、機器をデ이지チェーン接続し、プライマリ・セカンダリ構成を設定します。

1. デ이지チェーン接続

- 各機器の背面にある**XLRコネクタ**を使用して、データケーブルで機器を接続します。
- **最初の機器(プライマリ)**: メスXLRコネクタのみ使用します。
- **最後の機器**: オスXLRコネクタのみ使用します。

2. システムメニューで設定

- 各機器のシステムメニューで、**Personality > Pri/Sec Mode** に移動し、**ENTER**を押します。

3. プライマリ・セカンダリの設定

- **UP**および**DOWN**ボタンを使用して各機器をプライマリまたはセカンダリとして設定します。

注意: 1つのシステム内でプライマリとして設定できるのは**1台のみ**です。他のすべての機器はセカンダリーに設定してください。

4. プライマリ機器の設定

- プライマリ機器に戻り、必要なプログラムや設定を行います。
- セカンダリ機器は、プライマリ機器のプログラムに同期して動作します。

この手順を実行することで、複数の機器が効率的に連動し、一貫したパフォーマンスを実現できます。

DMXセットアップ

DMX512について

DMXは「Digital Multiplex」の略称です。これは、インテリジェントな照明機器とコントローラー間の通信に使用されるプロトコルです。DMXコントローラーは、コントローラーから機器へDMXデータを送信します。DMXデータは、すべてのDMX対応機器に搭載されている「DATA IN」および「DATA OUT」のXLR端子を介して機器間をシリアルデータとして伝送されます。

DMXリンクについて

DMXは異なるメーカーのさまざまな機種を1つのコントローラーに接続し、操作できるようにする通信プロトコルです。すべての機器およびコントローラーがDMXに対応している限り、リンクが可能です。DMXデータを正しく送信するためには、複数のDMX機器を接続する際、ケーブルの長さをできるだけ短くすることをお勧めします。DMXライン内で機器が接続される順序は、DMXアドレス設定に影響を与えません。たとえば、DMXアドレスが1に設定された機器は、DMXラインのどこに配置されても構いません。先頭でも末尾でも、または途中のどこにあっても、問題ありません。DMXアドレスが1に設定された機器がある場合、DMXコントローラーはDMXライン内のどこに機器があっても、アドレス1に割り当てられたデータをその機器に送信します。

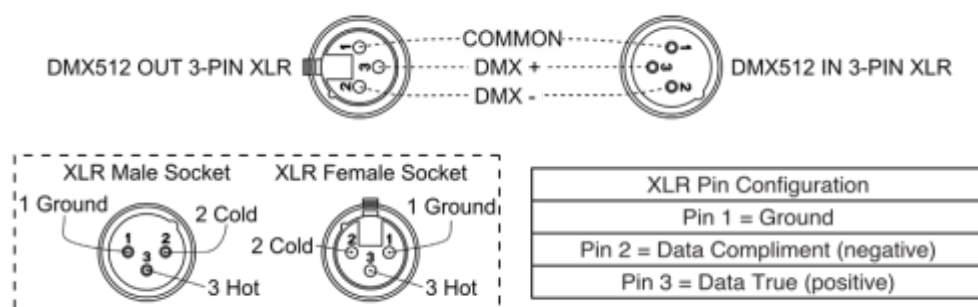
データケーブル(DMXケーブル)の要件(DMX操作)

本製品はDMX-512プロトコルで制御可能な、2つのDMXモードを備えています。詳細は本マニュアルの「DMX特性」セクションをご参照ください。DMXアドレスは、機器背面パネルのコントロールを使用して設定できます。この機器とDMXコントローラーには、データ入出力用の3ピンXLRコネクターが必要です。ケーブルは標準の110～120オームのシールドケーブルを使用してください。ケーブルには、片方にオスのXLRコネクター、もう片方にメスのXLRコネクターを取り付ける必要があります。また、DMXケーブルはデジチェーンで接続します。



注意:

ケーブルを作成する際は、以下の図を参照してください。XLRコネクターのグランドラグを使用しないでください。また、ケーブルのシールド導体をグランドラグに接続したり、シールド導体がXLRコネクターの外装に接触したりしないようにしてください。シールドを接地すると、短絡や不安定な動作の原因となる可能性があります。



ライン終端について

ケーブルの配線が長くなる場合は、最後の機器に終端器(ターミネーター)を使用してください。終端器をデジチェーンの最後の機器のメスXLRコネクターに接続してラインを終端することにより、不安定な動作が発生する可能性を低減します。

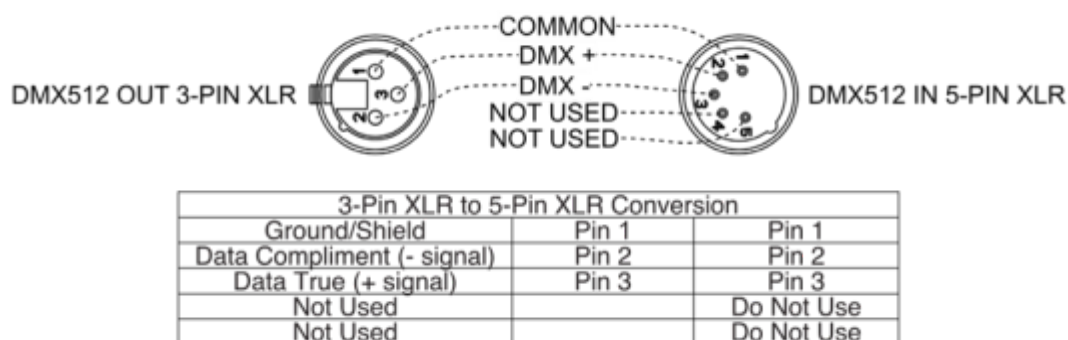


DMX512ターミネーターについて

DMX512ターミネーターは信号の反射による干渉を防ぎエラーを減少させる役割を果たします。DMX512ラインを終端するには、最後の機器のピン2(DMX-)とピン3(DMX+)を、120オーム、1/4ワットの抵抗を直列に接続してください。

5ピンXLR DMXコネクターについて

一部のメーカーは、データ送信に5ピンのDMXケーブルを使用しています。5ピンDMX機器は、5ピンから3ピンへの変換アダプターケーブルを使用することで、3ピンDMXラインに統合することが可能です。



DMXアドレス設定について

DMXコントローラーを使用する際、各機器にはDMXスタートアドレスを設定する必要があります。これにより、正しい機器が正しい制御信号に応答ようになります。このデジタルスタートアドレスは、DMXコントローラーから送信されるデジタル制御信号を機器が「受信」し始めるチャンネル番号を意味します。スタートアドレスは、機器のデジタルコントロールディスプレイで正しいDMXアドレスを設定することで割り当てられます。

アドレス設定のオプション:

- **同じスタートアドレスを設定:** すべての機器または機器グループに同じスタートアドレスを設定すると、すべての機器が同じように動作します。つまり、1つのチャンネル設定を変更すると、すべての機器が同時にその変更に従います。
- **異なるスタートアドレスを設定:** 各機器に異なるDMXアドレスを設定すると、それぞれの機器が設定されたチャンネル番号から信号を受信し始めます。この場合、1つのチャンネル設定を変更しても、影響を受けるのは選択された機器のみです。

例:

この機器が**16チャンネルモード**で設定されている場合、次のようにDMXスタートアドレスを設定します:

- 1台目の機器: スタートアドレスを**1**に設定
- 2台目の機器: スタートアドレスを**17**($1 + 16$)に設定
- 3台目の機器: スタートアドレスを**33**($1 + 16 + 16$)に設定
- 4台目の機器: スタートアドレスを**49**($1 + 16 + 16 + 16$)に設定

この方式を繰り返すことで、各機器が正しいチャンネル番号から信号を受信するように設定できます。

Channel Mode	Unit 1 Address	Unit 2 Address	Unit 3 Address	Unit 4 Address
16Ch	1	17	33	49
18Ch	1	19	37	55

DMXチャート

CHANNEL		DMX VALUES	FUNCTION
16Ch	18Ch		
1	1	000 - 255	Pan, 8-bit, 0° - 540°
	2	000 - 255	Pan Fine, 16-bit
2	3	000 - 255	Tilt, 8-bit, 0° - 210°
	4	000 - 255	Tilt Fine, 16-bit
3	5		Color
		000 - 004	White
		005 - 013	White + Color1
		014 - 022	Color1
		023 - 031	Color1 + Color2
		032 - 040	Color2
		041 - 049	Color2 + Color3
		050 - 058	Color3
		059 - 067	Color3 + Color4
		068 - 076	Color4
		077 - 085	Color4 + Color5
		086 - 094	Color5
		095 - 103	Color5 + Color6
		104 - 112	Color6
		113 - 121	Color6 + Color7
		122 - 130	Color7
		131 - 139	White
		140 - 195	Clockwise Rotation, fast to slow
		196 - 199	Stop
		200 - 255	Counter-clockwise Rotation, slow to fast
4	6		Gobo Wheel 1
		000 - 007	Open
		008 - 015	Gobo 1
		016 - 023	Gobo 2
		024 - 031	Gobo 3
		032 - 039	Gobo 4
		040 - 047	Gobo 5
		048 - 055	Gobo 6
		056 - 063	Gobo 7

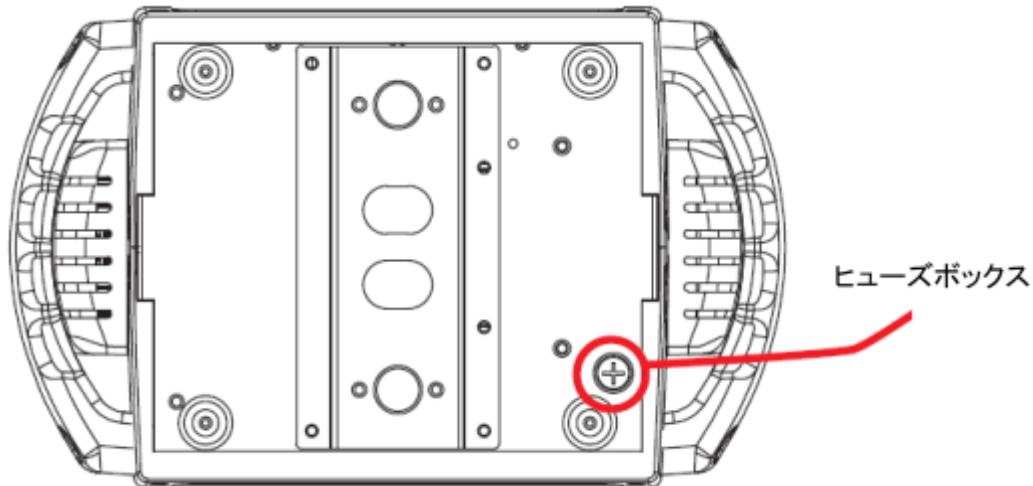
		064 - 077	Gobo 8
		078 - 085	Gobo 1 Shake, slow to fast
		086 - 093	Gobo 2 Shake, slow to fast
		094 - 101	Gobo 3 Shake, slow to fast
		102 - 109	Gobo 4 Shake, slow to fast
		110 - 117	Gobo 5 Shake, slow to fast
		118 - 125	Gobo 6 Shake, slow to fast
		126 - 133	Gobo 7 Shake, slow to fast
		134 - 147	Gobo 8 Shake, slow to fast
		148 - 199	Clockwise Rotation, fast to slow
		200 - 203	Stop
		204 - 255	Counter-clockwise Rotation, slow to fast
5	7		Gobo Wheel 2
		000 - 007	Open
		008 - 017	Gobo 1
		018 - 027	Gobo 2
		028 - 037	Gobo 3
		038 - 047	Gobo 4
		048 - 057	Gobo 5
		058 - 067	Gobo 6
		068 - 077	Gobo 1 Shake, slow to fast
		078 - 087	Gobo 2 Shake, slow to fast
		088 - 097	Gobo 3 Shake, slow to fast
		098 - 107	Gobo 4 Shake, slow to fast
		108 - 117	Gobo 5 Shake, slow to fast
		118 - 127	Gobo 6 Shake, slow to fast
		128 - 189	Clockwise Rotation, fast to slow
		190 - 193	Stop
		194 - 255	Counter-clockwise Rotation, slow to fast
6	8		Gobo 2 Rotation
		000 - 007	Stop
		008 - 129	Clockwise Rotation, fast to slow
		130 - 133	Stop
		134 - 255	Counter-clockwise Rotation, slow to fast
7	9		Prism
		000 - 007	Open
		008 - 099	Prism 1

		100 - 130	Open
		131 - 255	Prism 2
8	10		Prism Rotation
		000 - 007	Stop
		008 - 129	Clockwise Rotation, fast to slow
		130 - 133	Stop
		134 - 255	Counter-clockwise Rotation, slow to fast
9	11	000 - 255	Focus, far to near
10	12	000 - 255	Zoom, minimum to maximum
11	13		Shutter
		000 - 003	Off
		004 - 127	Strobe, slow to fast
		128 - 191	Pulse Strobe, slow to fast
		192 - 251	Random Strobe, slow to fast
		252 - 255	Open
12	14	000 - 255	Dimmer, 0% to 100%
13	15		Auto Play
		000 - 024	Off
		025 - 046	Auto Play 1
		047 - 068	Auto Play 2
		069 - 090	Auto Play 3
		091 - 112	Auto Play 4
		113 - 134	Auto Play 5
		135 - 156	Auto Play 6
		157 - 178	Auto Play 7
		179 - 200	Auto Play 8
		201 - 255	Color / Gobo Sound Sensitivity
14	16		Internal Programs (refer to Target Mode section of this manual)
		000 - 010	Off
		011 - 020	Program 1
		021 - 030	Program 2
		031 - 040	Program 3
		041 - 050	Program 4
		051 - 060	Program 5
		061 - 070	Program 6
		071 - 080	Program 7
		081 - 090	Program 8

		091 - 229	Sound Active Sensitivity, minimum to maximum
		230 - 255	No Function
15	17	000 - 255	Pan/Tilt Speed, fast to slow
16	18		Reset
		000 - 021	Off
		026 - 076	Reset Effect (hold 3 seconds)
		077 - 128	Reset Pan/Tilt Motor (hold 3 seconds)
		129 - 255	Reset All (hold 3 seconds)

ヒューズの交換

電源を切り、ユニットの底面にあるヒューズホルダーをプラスドライバーで取り外します。不良ヒューズを取り外し、新しいヒューズと交換してください。



クリーニング

機器を最適な状態に保つためには、定期的にクリーニングを行う必要があります。

清掃手順

1. 外部の清掃
 - 通常のガラスクリーナーと柔らかい布を使用して、外装と外部の光学部品を拭き取ります。
2. 完全に乾燥させる
 - 清掃後、すべての部品が完全に乾いていることを確認してから、機器を再度接続してください。

清掃頻度について

清掃の頻度は、機器が使用される環境(例: スモーク、フォグの残留物、ほこり、露)によって異なります。環境に応じて適切なタイミングで清掃を行ってください。

製品仕様

光源 (Light Source)

150W クールホワイト LED

主な機能 (Features)

モーターライズドズーム: 9° ~ 14°

調光: 0 - 100%

可変ストロボ: 1Hz ~ 20Hz

高速かつ正確なパン & チルト動作

カラーホイール (Color Wheel)

7色 + オープン

Goboホイール (Gobo Wheel)

ホイール1 8種類のスタティックゴボ + オープン

ホイール2 6種類のリプレイス可能なゴボ + オープン

プリズム

プリズム1 双方向回転可能6面プリズム

プリズム2 双方向回転可能5面リニアプリズム

制御 (Control)

DMXチャンネルモード: 16チャンネルまたは18チャンネル

動作モード: DMX512 / プライマリ・セカンダリ / オート / サウンド / RDM

LCDメニューディスプレイ

接続 (Connections)

DMX入出力: 3ピンDMX In/Out

電源接続端子

パン/チルト (Pan/Tilt)

パン: 540°

チルト: 210°

16ビットファイン/パン・チルト

電気仕様 (Electrical)

AC100V 50/60Hz

最大消費電力: 180W

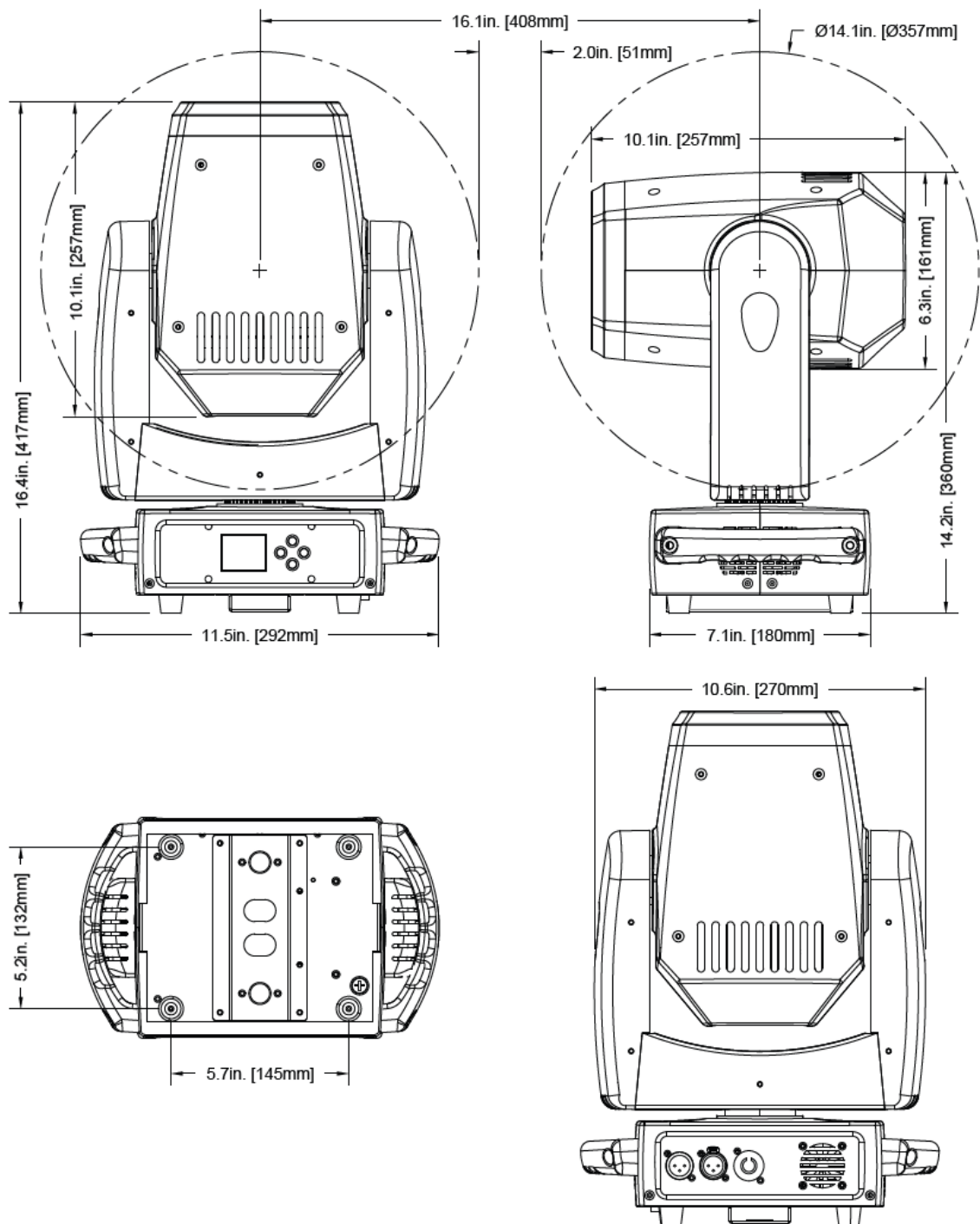
寸法 & 重量 (Dimensions & Weight)

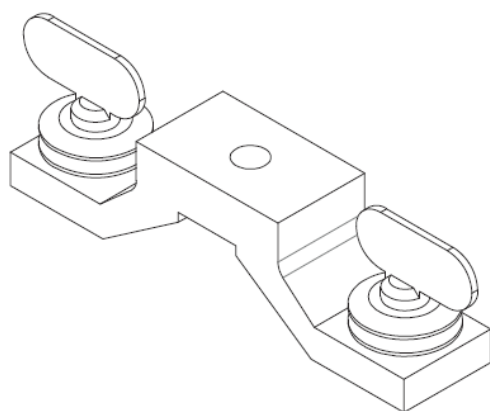
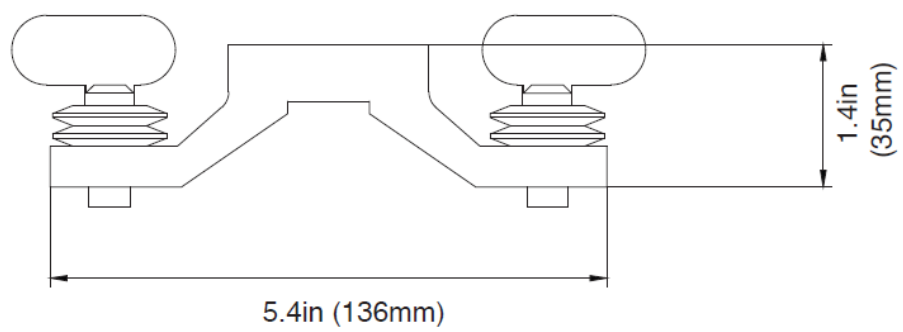
寸法 (LxWxH): 370mm x 292mm x 180mm

重量: 7.5 kg

仕様は予告なく変更される場合があります。

寸法図





ELIMINATOR[®]
LIGHTING